

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		23年度	22年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	19,966	19,556	410	2.1
消防費歳出総額(b)		999	1,047	△48	△4.6
(b)/(a)%		5.0	5.4		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	19,646	19,271	375	1.9
消防費歳出総額(d)		831	879	△48	△5.5
(d)/(c)%		4.2	4.6		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、酒々井町（7.8%）が最も高く、次いで勝浦市（7.1%）、袖ヶ浦市（6.7%）の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成24年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、芝山町（29,103円）が最も高く、次いで大多喜町（26,733円）、いすみ市（26,352円）の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は、芝山町（92,973円）が最も高く、次いで大多喜町（78,988円）、いすみ市（72,790円）の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目 / 年度		19	20	21	22	23
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	44,340	43,428	42,430	41,740	39,586
住民1人あたり		17,337	17,728	17,031	16,906	16,078
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	37,070	36,307	35,338	35,079	32,905
住民1人あたり		14,495	14,403	14,185	14,208	13,364

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は65%である。

平成23年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

